

公益社団法人愛知県医師会 第34回(定例)理事会議事録

開催日時：令和6年2月22日(木) 午後2時37分～午後4時5分

開催場所：愛知県医師会仮事務所2階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／野田 正 治 浅井 清 和 加藤 雅 通

理事／大輪 芳 裕 榎尾 富 二 小出 詠 子 田那村 收 浦田 士 郎

大石 明 宣 渡辺 嘉 郎 松浦 誠 司 西脇 毅 河村 英 徳

間瀬 光 人 横山 正 船橋 克 明 森 亮 太

監事／伊藤 宣 夫 岡本 晃 西山 朗

代議員会副議長／服部 達 哉 額 額 雅 明

欠席者

理事／細川 秀 一

代議員会議長／市川 朝 洋

議事録作成者 佐伯 知 美

※横山理事遅刻のため、承認事項および協議事項については、出席者22名(うち理事17名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

—承認事項—

1. 令和6年能登半島地震への医療支援について

榎尾理事より説明され、各地区医師会からの支援金56,865,753円、本会からの支援金200万円の合計58,865,753円を日本医師会に振り込むことが承認された。

2. 健康教育講座(地域開催分)について

西脇理事より説明され、岡崎市医師会が開催する健康教育講座(地域開催)について共催することが承認された。

—協議事項—

3. 愛知県医師会館既設解体工事(アスベスト除去工事)について

大輪理事より説明され、昨年12月に解体前のアスベスト調査を行った結果、想定より多くのアスベストが検出され、当初の契約金額の中に含まれていたアスベスト除去工事にかかる費用を上回る事となったため、想定を超える額を追加工事として契約を交わすことが承認された。

4. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日医小児在宅ケア検討委員会〔2/1(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

野田副会長より、答申案について検討を行ったと報告された。

2. 日医医療秘書認定試験委員会〔2/15(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

野田副会長より、第44回日本医師会医療秘書認定試験の合否原案の作成及び試験結果分析評価報告書案の作成について検討を行ったと報告された。

3. 日医理事会〔2/20(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

小出理事より、医療事故調査制度に関するシンポジウム(愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会主催)について、中医協の件について、日本専門医機構第21回理事会について等、報告及び意見交換を行ったと報告された。

4. 日医病院委員会(WEB会議)〔2/14(水)〕について

(日本医師会主催：WEB開催)

浦田理事より、今期会長諮問「第8次医療計画で求められる医師会の役割」について、地域医療計画の実効性を高めるために何が必要なのかという視点から、病院委員会の7回の検討を踏まえた答申案が示され、意見交換を行ったと報告された。

5. 日医救急災害医療対策委員会 JMAT のあり方 WG(臨時)〔2/14(水)〕について

(日本医師会主催：WEB開催)

河村理事より、被災県医師会が支援要請を躊躇する場合もあるため、初動に際してはPush型でのJMAT調整本部の立ち上げを始め、そもそも日医の委員会や役員等が初期派遣やシステムとしての仕組みづくりをしておく必要があるのではないか等の意見交換を行ったと報告された。なお、委員からの意見や提案をまとめ、親会に提言を行う予定であると補足された。

6. 令和6年能登半島地震災害対策本部会議(WEB会議)〔2/20(火)〕について

(日本医師会主催：WEB開催)

河村理事より、穴水町の能登北部調整支部を近日中に輪島市に移動させる意向が伝えられ、能登町と穴水町のニーズ減少に伴い、輪島市に滞在する石川県JMATを中心に門前・輪島・珠洲の支援に注力することとなったと報告された。また、出口戦略としては、2月末で現地の事情に応じて順次縮小も検討するが、課題も

残ると報告があったと補足された。

【本会関係会議について】

7. 愛知県医師会館建設小委員会〔2/15(木)〕について

(ウインクあいち)

大輪理事より、アスベスト除去工事について、当初提示された工事金額を佐藤工業と日建設計で精査を行い、当初より減額された工事金額の提示があったが、再度交渉を行った結果さらに減額したため、今回提示された見積金額で了承することとしたと報告された。

8. 治験審査会〔2/16(金)〕について

(栄ガスビル)

渡辺理事より、継続審査案件(クローン病2件、潰瘍性大腸炎2件、潰瘍性大腸炎・クローン病1件)について、全て承認された報告された。

9. 広報委員会(WEB会議)〔2/14(水)〕について

(401会議室)

西脇理事より、愛知医報のトップ掲載予定や表紙掲載写真等について検討し、新規広告については全て掲載することとなったこと、会員の欄については3件が投稿され、そのうち2件を掲載、1件は執筆者に一部修正いただいた後に掲載することとなったことが報告された。

10. 小児在宅医療推進企画委員会(WEB会議)〔2/17(土)〕について

(402会議室)

森理事より、今年度開催した各種研修について報告が行われた後、次年度の実施計画について確認を行い、医療的ケア児に従事する医師向け研修については、水野委員長とつばさ静岡の浅野一恵先生にプログラム等を一任し、小児医療従事者ネットワーク構築研修については、尾張西部医療圏と知多半島医療圏で開催することとなったと報告された。

11. 講演会・研修会等について

*は共催・協賛等

柵木会長より、下記No.1～No.2の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	2/16(金)	産業医活動支援研修事業に伴う産業医研修会(実地研修)	14名	船橋理事 河村理事
2	2/17(土)	愛知県医師会検視医研修会	42名	船橋理事 河村理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 2. 愛知県医療審議会医療体制部会〔2/14(水)〕について

(愛知県主催：名古屋銀行協会)

柵木会長より、地域医療介護総合確保基金を活用する令和6年度県計画について、病床機能再編支援交付金に対する意見について、有床診療所の病床整備計画に対する意見等について協議したと報告された。

1 3. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔1/29(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

野田副会長より、1月の保険医療機関・保険薬局の医科では、新規8件、開設者変更9件、移転・その他3件であったと報告された。

1 4. 東海北陸地方社会保険医療協議会総会〔2/14(水)〕について

(東海北陸厚生局主催：イオンコンパス名古屋笹島会議室)

野田副会長より、医科における保険医療機関の指定の取消し及び保険医の登録の取消しを決定したと報告された。

1 5. 愛知県病院協会定例理事会〔2/13(火)〕について

(愛知県病院協会主催：昭和ビル)

浦田理事より、令和6年能登半島地震への県内DMAT派遣状況(1/2～2/7まで累計80病院、なおも出動要請あり)、次期診療報酬改定に向けた中医協答申内容、県内の感染症状況、名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院の病院機能高度化・増床・新築移転申請に関して地域医療構想主旨との乖離、等々について情報共有と意見交換を行なったと報告された。

1 6. 日本多施設共同コホート(J-MICC)研究外部評価委員会〔2/14(水)〕について

(日本多施設共同コホート(J-MICC)研究主催：JRゲートタワー)

横山理事より、文部科学省科学研究費補助金「コホート・生体試料支援プラットフォーム」支援に係る会議としてJ-MICC研究の外部評価委員会が開催され、運営委員会、全体会議の報告、研究費の状況、追跡調査の進捗状況、共同研究の実施状況、学会・論文発表状況、J-MICC研究ホームページ等が議論されたと報告された。なお、約10万人のコホートをつくり、来年で20年となる研究であり、インパクトファクターの高い英文誌発表が出てきており、さらに10年間の追跡延長を試みていると補足された。

1 7. 愛知県障害者虐待防止・差別解消推進協議会〔2/13(火)〕について

(愛知県主催：愛知県庁本庁舎)

森理事より、2022年度障害者虐待状況及び2023年度上半期障害者虐待状況について報告があったと報告された。なお、障害者虐待防止に係る本県の取り組みと

して、多職種が参加できるように複数回、時間的配慮もして研修実施されていると補足された。

【その他事項について】

18. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

令和6年2月22日